

令和2年度 第5回茂原市学校再編審議会 会議概要

- 1 日 時 令和2年10月14日(水) 15時～17時45分
- 2 場 所 茂原市役所 市民室
- 3 出席委員 12名
中山会長、足立副会長、永山委員、中村委員、齋藤委員、村澤委員、
中村委員、中瀬古委員、壁委員、秋葉委員、齊田委員、平井委員
- 4 出席職員 15名
教育長 内田 達也
教育部長 岩瀬 裕之
教育部次長(教育総務課長) 佐久間 尉介
学校教育課長 金澤 勤
学校教育課主幹 金坂 暁
教育総務課長補佐 川崎 弘道
教育総務課学校再編推進室長 大橋 康博
教育総務課副主幹 豊田 実
教育総務課総務係長 小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室主査 石田 卓也
教育総務課学校再編推進室 紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室 深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室 狩野 久志
都市建設部土木管理課長補佐 大塚 直之
都市建設部土木管理課主査 小関 哲也
- 5 傍聴者 5名

会議内容(進行: 深山)

- 1 開会 午後3時
茂原市学校再編審議会条例第6条第2項に基づき、出席委員12名で過半数を達しており会議成立。
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
条例により会長が議長となるため、議事は会長が進行となる。

報告（１）本納及び五郷地区の保護者意見交換会について

事務局より【参考資料１】を用いて説明。

質疑等なし

報告（２）第二次実施計画策定スケジュール（案）について

事務局より【参考資料２】を用いて説明

質疑等なし

報告（３）これまでの具体的な審議内容について

事務局より【参考資料３】を用いて説明

質疑等なし

4 議題（１）第二次実施計画における小中学校の具体的な再編方法について

議長：報告いただきました。第4回の審議会で完全に確認しきれなかった内容について意見をまとめていきたいと思います。順を追って審議をお願いします。まず本納小学校と新治小学校の統合について。統合時期は、なるべく早く統合とありましたが。具体的に何月何日まで今日ここで決めたいと思います。ご意見をお願いします。よろしくをお願いします。

委員：本納小学校、新治小学校の統合で、統合時期を令和3年度の9月は教育委員会の都合でできにくいとありましたが、本当にできないのか。やる気があればできるのか。

議長：お返事いただければ。どうぞ。

事務局：令和3年9月ですが、前回もご説明したとおり、年度内の途中ですので、新年度始まり校長先生がふたりいて、途中でそれを1つにするというのは無理です。出来ないです。

委員：イレギュラーかもしれないけど、例えば校長先生を兼務とかにして。無理やりとかなんですけど、話にならないと、そういうことですか。

事務局：各学校とも校長教頭、職員数は令和2年度末に確定し、準備いたします。それを途中で1つにするとなりますと、非常に無理があると考えます。兼務につきましても両校ありますので、年度途中は非常に無理があると。以上でございます。

- 議長：というお返事ですが。
- 委員：無理であればしょうがない。何とかなのであれば、なるべく早くという気持ちを教育委員会も持ってるようなので、できるのならやった方がよいと思う。
- 議長：指名して申し訳ないが、現校長の委員はどうお考えですか。
- 委員：はい。制度として運用できない。と思われまして、やはり4月が望ましいと思います。
- 議長：普通に考えればそれが正解だと思われた方が大勢かと思いますが、それをうまくできないのかと。それをきつく言いたいのは何故でしょうか。
- 委員：当然以前から統合すべき、早急にすべきということですので、その方法を探ると。年度途中でもできる方法を探るべきではないかと思ひまして。
- 議長：ありがとうございます。他にありませんか。
- 委員：先ほどの年度途中とのことなんですが、子供達の気持ちを考えたり、親御さんの準備とかもありますので、PTAの方、ご意見いかがでしょうか。
- 委員：考えたことなかったですね。PTAですと、そのようなことを経験したことないのですが、ふたりの学校長、PTA会長、副会長とも2倍とか、規模でどっちが上とか、そういう話になるのではないかと。親は何とかなっても子供優先の考え方が良いかと思ひますが。
- 委員：同じ意見です。4月から新しいPTA体制、ほとんどだと思ひます。9月までの5か月間、統合される側の学校と生徒が増える側の学校。かなりやりにくいと思ひます。役員決め、クラス担当役員とか。例えば本納小学校9月からスタートにあたって、で新治小学校くると。また、クラスの役員決めからやらないといけないと。大変だろうと思ひます。個人的には9月に2校同時にという意見もありますが、個人的には4月からスタートに、新治小学校も一緒にスタートの方が、春休みの間に一緒に準備してスタートできるのではないかと思ひます。
- 議長：ご案内のように二宮小学校緑ヶ丘小学校が統合して一つになると。子供まで交えてアンケートをとって、二宮に決まると。おそらくPTAにつきましても、話し合いをしたんだろうと。事例は茂原市内にそういうこともあるわけですから参考にできるだろうと。途中の9月がよいのか4月がよいのか体制としては4月が良いのではないかと。では、令和3年9月、令和4年4月、5年の4月。どうでしょう。どこに落ち着かせたらよいのか。ご意見をお願いします。
- 委員：私は前回の会議で、本納小学校は令和3年の9月。新治小学校は令和4年4月で決まると認識しています。2番目と3番目、特に2番目が非常に大きな問題だと。決められないと。意見内容を踏まえて、これから検討しよう、ということで前回の再確認も良いですけど、決まったことは決まったことで、一つずつ決めて、次に進みたいと思ひます。
- 委員：前回決まったのは、本納小学校は工期が遅れたので3年9月の予定だと。新治小

学校については、ご意見がでましたが決を取ってないので決まってないんですよ。ですからお決め頂こうということでございます。

議長：最終段階で日にちまでは決まらなかったと。いずれにしても早め早めに新しい校舎で、仲良く勉強させたいと。親の立場でも早い方が良いかと思えます。いかがでしょうか。

委員：本納小学校の移転は令和3年9月は確定と。新治小学校の話は今と。確認です。

事務局：はい。

議長：校舎の出来上がり、子供が移るのを考えて、3つのどれか確認したいと思います。挙手をお願いします。

委員：その前に、豊岡小学校意見交換会に初めて出席しましたが、かなり意見強かったと思えます。議事録見ても賛成はいくつでしょうかと。そういう方は回答が欲しいけど、返事はないというかその辺の対応はどうなってるのでしょうか。

議長：参考資料3の4の中で、本納地区3小学校は第1次実施計画で統合は決定しております。本納小、新治小、豊岡小です。参考資料1の中の保護者意見交換会、参加者13名。豊岡小学校の保護者意見ですが。確かに賛成はあまりなかったですね。うちの学校はすごいと。台風もあまり来ないと。

委員：水害がないということ。(その他よいところ)

議長：いいところはみんなありますそれぞれの学校に。長い歴史も色々あります。しかし使用校舎、通学区域は、それは確定であって、昨日今日決まったことではなくて、色々豊岡地区の皆さん愛着持っているが、豊岡だけ入らないというのは私は無いのではないかと思います。そのことでご意見ございますか。

委員：令和3年9月に本納小学校が移ると、それは学校全部移るからよいかと思うけど、それまでに本納中学校の周りの道路整備はできるのでしょうか。今、色々問題が出てるのは、膝ぐらいまで水が浸かっちゃうと、外房線と中学校の間、それをちゃんと整備できるのかどうか。それをやらないと父兄の賛同が得られないと思う。ちゃんと整備をやりました。ガス問題も解決しましたよと、ですから移ってくださいと。それができないと統合時期を決められないですよ。そこをご意見いただきたい。

議長：事務局の方から説明して貰います。何度もご説明貰いましたはずですが、報道等もありました。ご確認をお願いします。

事務局：本納小学校の年度途中で移ることについてですが、学校そのものが移りますが、家が一軒移るだけでも大変ですので、学校ですと物理的な問題、子供たちの指導、保護者の理解とか必要になってきます。チャイムの45分と50分とか色々ありますが、来年度に向けて両校で色々検討・相談してくれています。ですので、子供たちが迷わないように準備を進めていることは確かでございます。

教育長：今のご質問にお答えしますと、本納中学校の周りの道路の冠水で登下校する子

供たちの問題を解決できるのかということですが、個人的にですが冠水しないような道路にすることができるのかと言われれば令和4年4月までに出来ないと思います。あのような冠水で登下校できなくなったのは、本納中学校の敷地の周りだけではありません。早野中学校も下校時にかなり深く胸まで浸かることも問題になりましたし、多くの学校で起きました。学校に泊まった子も大勢いました。ですので、教育委員会では土木関係の対策ではなくて、大雨・洪水・大雪警報が何時までに出ていたら子供は学校で止めおくと。保護者の方も無理に迎えに来ないで下さいと。危ないですから。前の日のいつの段階に警報が出て、いつまでに解除されていなければ休校にしますと。そういう安全対策をとっています。

豊岡小の説明会や本納小学校ですが、ガスの質問の回答を待っていると。ガスについては、危ないから本納小学校以外に通わせたいとか、それに検討しますとか。ガス井戸を掘ったらどうか、本納中学校も平成16年にガスの検査をして出てないのですが、また検査をしてもらえないかと。大体の方向性は出ていますが、近々文書で保護者に通知する予定です。私の回答は以上です。

委員：学校の方で早め早めに対応して頂ければよろしいかと思えます。長い年月かけて、少しずつでも道路を考えて頂ければと。それとガスの問題ですが、天然ガスが色んなところから出ているんですよ。茂原市。掘れば出てくる。だけど濃度が低かったら危なくないんですよ、自然換気すれば。九十九里の方の爆発は、使わない小屋でガスが溜まったと。使っている建物じゃないんですよ。そのようなちゃんとした説明を父兄の方にちゃんとして説明して貰えれば納得すると思えます。以上です。

議長：ありがとうございます。ガスの問題、水の問題、道路の問題。道路がきちんとないうちはなかなかOK出せないよという気持ちを持ちながら、先程のご説明でご理解いただけましたか。

委員：1次の時は、ハザードマップが古いのはそんなに水の心配がなかったが、今回は600ミリ以上でかなりハードルが高くなっている。我々は古いハザードマップでの話をして、水の心配は年に何回だからしょうがないと思っていたが、どんどん心配が無くならないので、ちゃんと説明して父兄が納得しないとダメだから、PTAが納得しないとダメだから。豊岡と本納聞かせてもらったけど、豊岡なら父兄が50~60人来ないとダメですよ。それが13人。活発な人がどんどん意見を言います。本納も23人。本納も70人くらい来てもらいたい。意見を出してもらいたい。ガス問題については父兄同士が言い争うような場面もありました。年数をかけて少しずつ理解して貰うより仕方無いですね。二宮小学校と緑ヶ丘小学校のように説明してプレゼンしていけば、納得してくれると私は思っています。

- 議長：ありがとうございます。他にご意見ありませんか。
- 委員：先ほど事務局から新治ニュータウンのご説明ありました。机上の空論かもしれませんが、現状の少ない子供たちを早く大きな学校に移動してあげたい気持ちは変わらないと思います。令和4年4月が良いというご意見も聞かれました。ですので、ここで決を取ろうということだと思います。本納小学校の移転については令和3年9月だと。万万が一、工期が伸びて9月に入れられないという時は、令和4年4月とか、その辺りも念のため決めた方が良いのかと思います。ただ、統合の話について早く日程を決めた方が良く私は思っています。以上です。
- 委員：前回の会議で、新治小学校の意見は非常に前向きな意見だったということで、挙手による決め方と知らなかったのが、てっきり前回の会議で決まったと思っていました。まずそこを決めて、難題であった豊岡小学校は別にして、決めるべきことを結論を出した方が良くと思います。
- 議長：今日決めたいのは、新治小学校、豊岡小学校別に考えると。そういうことでご発言ありましたが、今まで挙手で決めることはなかったが、決めたいと思いますのでご協力お願いします。出尽くしたと思いますが。ご意見ありませんか。
- 委員：今お話ありましたように、早急な事といえば本納小学校の崖崩れ。父兄はすぐに本納中の教室を貸してくださいという位でした。新治小学校も皆さんご覧になって、今のままではダメだとみんな思ったと思います。ダメ押しみたいです。よろしく願いいたします。
- 委員：私も初期の頃から関わらせて貰っています。新治小学校の現状は、子供たちが本当に広い教室で、小さな机がポツンポツンという状況を見てきているので、早急に大勢の仲間と色んな経験をして貰いたいという気持ちは強いです。
- 議長：それでは指名させていただきます。
- 委員：はい。新治小学校については、令和3年9月は制度として厳しいというのがありますので、それを踏まえたくて、出来る限り早めに対応するのが適正ではないかと考えます。
- 議長：それではもうひとり。
- 委員：はい、前回から同じようなことを話しておりますが、新治小学校については今の6年生が卒業となると、おそらくすべてが複式学級になると。もう9月からでもというお話ありますが、それは制度として難しいので出来るだけ早く考えると令和4年4月からが良いと考えます。
- 議長：それでは挙手をお願いします。12名います。数の多い方で決定したいと思います。令和3年9月は除いて、令和4年4月あるいは令和5年4月どちらかで多い方で決定したいと思います。令和5年4月という方いますか。
- 委員：なし
- 議長：では令和4年4月という方をお願いします。

委員：賛成10名挙手（会長・副会長を除く。）

議長：私も手を上げたいと思うくらいですが、新治小学校については令和4年4月1日
よいですか。細かいことですか。はい、令和4年4月1日で決まりです。

委員：では再度確認します。本納小学校の移転は令和3年9月。新治小学校の移転は令
和4年4月と。先ほどもありましたが、万万が一、工期が伸びた場合はどうなる
んでしょうか。

事務局：はっきりと決めてはいませんが、子供たちのことを一番に考えなければならない
と思っています。現状は夏季休業がありますので色々と動ける面があります。遅
れてしまうと可能かどうか検証しなければなりません。はっきりと申し上げら
れませんが、長期休業があれば移動しやすいと思います。ずれ込んだ場合は検
討しなければならないと思います。

議長：よろしいでしょうか。

委員：はい。

委員：4月1日は木曜日なので、はっきりと決めずに4月としておけば良いと思います。

事務局：学校のスタートは4月1日になります。実際、始業式の登校は遅いかもしれませ
んが、学校は4月1日にスタートいたします。

議長：ノーマルな形で考えれば4月1日と。はい。先は何が起こるかわかりません。100
年に1度の洪水のようなこともあります。アメリカの大統領は大丈夫だと、日本
の総理もがんばってますが、特に気象にかかわることはわかりません。何か起
これば当然変えなければならないのは当然ですが、会としては令和4年4月1日と
。ご理解いただけますね。それでは次に本納小学校と豊岡小学校の統合につい
てです。豊岡小学校については、地域というよりも、保護者の方を対象にした集
まりを持ちましたが、開催時期が2学期のスタートとぶつかったこともあり、も
う一度会を持つと。いずれにいたしましても前回は意見がまとまりませんでした
ので、今回決めたいと思います。集まった方は8人であり23人であって、少人
数であって、もっと集まった方が良いと誰でも思うのですが。統合の時期を先
程のように決めたいと。すでに新治小学校と一緒にいる学校にです。P
T Aの組織もまた大きくなります。時期を明記するのかどうか。児童の推移は
予測ではありますが、豊岡小学校も5年後には子供の数がかなり減ってくる。本
納、新治、豊岡どこも子供が少なくなる事実が待っている。そういう中で、豊岡
の保護者の方の気持ちも踏まえて考えていく。よろしく願います。

委員：豊岡小学校のPTAさせてもらってます。記載あるように賛成の声はあまり聞
いていません。多くの意見としては統合は反対しないという方はいますが、新
しい校舎に不安があるという方が大多数おられると思います。それに加えて豊
岡小学校の素晴らしい環境。広いグラウンドと教室も十分対応可能な校舎。通
学に関して、学校周りは歩道がしっかりと整備されていますので通学も心配な

いと。そういう面もあって、確かに茂原市の適正規模に満たない状況ではあるんですけど、それを十分に補うほどの学校の環境が、このまま続いて使った方が、親御さんとしても安心して子供達を学校に通わせられるし、子供達も今の豊岡小学校に比べて、遊びたいときに遊べないとか、グラウンド・体育館を使いたいときに使えないとか、そういう制限があると思います。それが豊岡小学校にはありませんので、1年でも長く豊岡小学校で勉強させてあげたいなと思います。

委員：はい、意見はほぼ同じです。

議長：では、違うところだけお願いします。

委員：はい、豊岡については、まだ早いのかなという気持ちがしなくはないですけど。本納小学校の反対意見は、新しい校舎についての意見が多かったかと思いますが、豊岡小学校の反対意見は、何故本納に行かなくてはいけないのかと。そういうふう聞いておりました。ですので、この場で統合時期をいつと決めるというのは難しいと思います。5年後の推計も6学級を維持できると。確かに適正規模には準じていませんが、じゃあ6学級だからというわけにはいかないと思います。僕からは、今いつというのは言いにくいですね。

委員：はい、豊岡小学校は以前のアンケートの結果を見ますと、統廃合を避けるは24.3パーセントと。全体から見てかなり高い数字です。本納小学校、新治小学校ですと、本納小学校は11%、新治小学校は7%と。それに対して倍以上の数字。全体の中ですと2番目。逆に、やむを得ないもしくは統合すべきを足して60%位と。前回の意見交換会の保護者の意見もかなり本当なんだろうなということだと思います。意見の中でちょっと気になったのは、どうせ統合するなら一緒にいいと思う。これは本納小学校と新治小学校が一緒になる時という意味ですかね。それと統合に関しては、仕方がないが60%といますので。半分以上はそう思ってるんでしょうが、豊岡小からは離れたくないと。ただですね、色々考えると、前回の話の中で残ってまして、物事を決めてく中で何を中心に考えていくのか決めておく必要があるかなと。それは学校規模が決められてまして、6学級ならすみやかに統合という中に入ってしまった。それと第1次計画の中で統合が決まっていると。いう中で、そうするとそのまま考えると、本納中学校に豊岡を持っていくという流れになると思うのですが、それ以外に、統合は確定、そして本納中学校に行かないという案は、私の中で浮かばないので、どうしたものかなと、いうことです。ただ、全体から見ると早い方が良いのかなと思います。出席された方、統合するなら一緒に良いということについて、わかれば教えていただきたい。

議長：はい。一緒というのは既に本納小学校と新治小学校が一緒になっていると。ここに豊岡小学校の子供たちが通うということじゃないでしょうか。新治小学校

と一緒に嫌とか、本納小学校が嫌とかそういうことじゃなくて。既に豊岡小学校の子供たちが通う頃には、本納中学校の敷地の中ではありますが、きちんとした本納小学校という名前の学校があって、それは旧本納小学校、新治小学校と一緒にあって、そこに僕たちが行くということだと思います、これでいけませんか。

委員：ここには後から入ると、溝ができないか。と書いてあるんですね。

議長：はい、新治小学校と本納小学校が入っている学校、そこと一緒になるということと言ってるんじゃないでしょうか。

委員：この意見だと、令和4年4月に入るなら、入りたいという意見かなと。それが間に合うのかなと。

議長：はい。どうぞ。

委員：私も出席しました。委員長のお通り、本納小学校、新治小学校と一緒にあって、スタート切るときに豊岡小学校も一緒に統合してもらいたいと。1・2年遅れちゃうと、カラーができた後で入ると児童とPTAが馴染めないのではないかと、そういうふうな意見に感じました。

委員：子供たちのことを考えると、その意見はすごく理解できるかなと。前回私が言ったのは、9月になんとか新治小学校を入れてもらえないかと。本納小学校が入った後に、新治小学校が入るとこのような心配が出るのではないかと思ひ、そのような意見を申し上げたわけですが、制度上できないなら仕方ないと思ひました。すみません、まとまりませんが。

議長：意見のことですね。事務局どうぞ。

事務局：今のお話ですが、議事録で確認したところ、統合時期は合併するならば、3校でということ。それが一緒にないと、その後、中学生になるにあたって溝ができてしまうのではないか、いうところを心配されていたと。以上です。

議長：私もそのように思ひ申し上げたと。さあどうしましょう。

委員：前々回の会だと思ひんですが、この豊岡小学校は別に考えましょうと、いう意見があつて、それについて決を取ったわけではないですが、考え方として、豊岡は別のタイミングでやりましょうと、そういう方向でやろうと決めたから、私どももそういう認識で来てるわけです。確かに意見としてはあつたわけですが、豊岡小学校は別途ということで検討していけば良いと思ひます。

議長：確かに話し合いの中で出ましたよね。なるべく早く新治小学校の子供達だけでも、新しく建つ新本納小学校に入れてあげたいという気持ちですね。豊岡小学校は多少時間がずれるかもしれないけれど、二校のままで進むのではなくて、いずれ豊岡小学校も新治小学校が入つたように、新しい校舎の本納小学校に移るんだと。中には転校すれば良いじゃないかと、豊岡小学校に行くんじゃないかと、別のとこ、豊岡小学校が本納に行くなら、私たちは行かないと、そのかわ

り別のところに行くと。そういう親もいるかも知れません。中にはね。ただ、茂原市立の学校であれば、ひとつの学校だけポツンと今までどおりの教育を進めるのではなくて、せっかく本納地区という歴史ある地域があって、中学校が1校しかない。子供の数は減っているけど、伝統ある本納中学校はそのままにして。崖を背負っている本納小学校の子供たちをまず安全な場所に移そうと。その時、一緒に考えるのは新治小学校の子供たち。来年になると更に児童数が減る少人数の学校だ。いくら一生懸命やっても、スポーツ、集団でやる野球とか色んな事がやりたくても出来ない。そういうことをたくさんあげた中で、私達は、だったらまず本納小学校が移動し、そこに新治の子供達を迎え、いずれ豊岡小学校の子供達も通ってもらうんだということで記憶しております。

委員：はい。お話ありましたけれど、思い起こせば小中一貫で、本納地区で土地を探して新しい学校を建てるということで話し合っていたと思うんです。それが、土地の問題がありました。本納小学校に新治小学校の子供たちを統合して一緒にやりましょうかと。そこに崖の問題が出てきて、これじゃあ危ないよねっていう話から、本納中学校の敷地内に新しい学校を建てましょうとそういう流れだったと思うんですね。その段階で豊岡小学校は時期をずらして別個に考えましょうと。そういうことだったと思うんです。豊岡小学校は難しいと思うんですが、子供達のことを考えると、今も3校で交流会をやったりとか、相談員をやらせて貰ってますがドッジボール大会をやったりとか、今年は出来ませんでした。子供たち同士はやっていると思うんです。新治小学校、本納小学校が一緒になっても、その交流は続くと思うんです。それに関してはPTAさんで話し合ってもらって、どうなるのかなど。その辺は私は子供たちを考えると段階を踏めば大丈夫じゃないかと思えます。あと心のケアでスクールカウンセラーを置いて、人数を増やすとか。きちんとやれば大丈夫じゃないかと。ただ、時期に関しては難しいと考えています。今ハッキリどうのというのは、言えませんが、ただ増加が見込まれなければ速やかに統廃合、もうこの一言じゃないかと。これからの推移を見ての決定事項になるのではないかと思います。

議長：ありがとうございます。最終的な落とし所はその辺りではないかと思っております。

委員：お聞きしていると、豊岡は別だという、そういう意見なんですけど、それはいつ論議されたんでしょう。

委員：前々回に、タイミングですよ。移るタイミングは、豊岡は別に考えた方が良いねと。私もキチンと頭の中に入ってますけども。

委員：別は、タイミングが別ということですね。わかりました。

議長：今現在、新治小学校のように非常に少ない学校ではないですが、5年間進むと、推定では数も減っていくと。本納地区をひとつにまとめて三つの小学校が一緒

になるということ。最終的には統合の時期、豊岡小学校がいつ移動するのかについての問題、きちんと明記をしなければならないのかと。児童数の推移。実際本当にこれに近いことになっていくとすれば、当然のことながら茂原市が決めた学級の中の子供の数。これはやっぱり非常に大事な教育環境なので、こういうことも考え、茂原市の学校の環境をどうするんだ、そういう中で道路の問題等もあります。このあと出るかもしれませんが、早野、南中学校の統合の問題、ちゃんと道路整備してくださいねという念押しの発言も聞いております。

委員：先程のお話ですが、8月頃ですか、学校再編の委員の意見まとめというのが出ていて、その中には本納小は早急に移転、その後新治小、豊岡小の順に移転とあるので、そのことかなと思いました。3校統合は決定しているということになっています。ですから、いずれはしなければならないですが、豊岡小学校で伺った時の意見ですが、父兄の方々が賛成をしてる方ではなく、反対者の方しか来てませんでしたので、本当にみなさん考えての方。というような。だから、一緒になろうとしてもなかなか何で行かないといけないの。という意見が出てきちゃったと思うんです。本来ですと3校一緒に、今回は本納小学校が移動して、すぐ新治小学校と。そのタイミングで一緒に行ければ一番良いと思うんですけども。やはり父兄の方々が理解していないところを無理にとはいかないので、日にち的に年月日はどうなのかなと。深く考えたりとか、説明していかないと進まないのではないかと思います。

議長：ありがとうございます。おっしゃるとおりです。3校関連の委員の意見まとめのページを見てるんですけども、ほとんどの人が、本納小学校の新校舎。本納、新治小が入って、豊岡小を迎えようと、そのような話であったと思います。

委員：よろしくお願ひします。第1次実施計画の中で統合が決定している部分を踏まえつつ、保護者の方の説明会に参加しましたが、意見を含めた中で決めていくということですが、時期について第2次実施計画の中で出さないとなると統合しないんじゃないかということに繋がるかもしれませんので、ここについては、例えば令和7年とか、末じゃないですが、明記をしていくと。規模についても130人と、もちろん適正規模には満たない状況ですので、子供たちの学習環境、人間関係等を考えますと、やはり第2次実施計画の中で明記することも大事ではないかと考えています。

議長：私賛成意見だと思う。ありがとうございます。次お願ひします。

委員：結論的に言って、第1次実施計画で統合が決定していて、第2次実施計画の中で統合を目指す記載があるので、第2次実施計画の中で統合。児童数の推計を見ると令和7年度で6学級になるのは分かっていますから、そうすると6学級ですと増加が見込まれなければ速やかに統合ということになってますので、やはり基準に充てて、令和7年と書くのが良いのか、令和8年となるのか。第2次実施

計画の中で、計画をキチンと出すべきだなと感じています。さっき気になっていたのは、豊岡小学校は別だというのは、例えば本納小学校と新治小学校をやると、残るのは豊岡小学校だけですよね。そうすると別になるんですよね。タイミングが別だというのは、一緒にするのは3校一緒にやらないといけないけども、その時期は第2次実施計画の中でやるということで、たまたま新治小学校は早く解決してあげないといけないでしょうと、それで豊岡が残るといって、新治小学校を先にやる結果、豊岡小学校が残ると。いま、豊岡も反対の保護者がたくさんいて、なかなか賛成の意見を伺えなかったんですけども、令和7年で6学級になるというなかで、令和7年度で統合を進めていったほうが良いのかなと思いますし。人数が少なければ少ないほど学校の施設って使いたい時に使えるんですよね。そういった事ではなくて、やっぱり子供達のためにどういった教育環境を与えるのかなということを真摯に考えて、第2次実施計画の中で統合を考えるのが適切でないかと考えます。

委員：私は6学級になった時点で統合と考えれば良いのではないのかなと思ったんですけども、予測では2020年に6学級になるということですが、もうなっているんですか。ということは、6学級になった時点で統合ということで良いのかなと思います。

委員：学校教育課長に伺いたいのですが、3年生が37名で2学級になってますが、4年生になったら1学級ですか。

事務局：千葉県基準では、4年生以上で38人学級ですので、2つではなくて1つの学級になります。

議長：はい、次のかた。

委員：私の意見としては、統合時期ですけど、本納小学校と新治小学校が一緒になって、本当に魅力的だなと思われた時に、移っていくタイミングだなと思ってます。私個人としては、今までの決まり事とかありますけども、決められないなと思ってます。それからもう1つは第1次実施計画で統合が決定しているという前提で話しているわけですが、最近のマスコミの報道で、自民党が40人学級を30人に減らす要望を出すんだと、こう言ってるんですよ。その時に、この第1次実施計画が揺らぐのかどうかと、そこまで検討しているかどうかですね。事務局の方に、自民党案が必ず通るか分かりませんが、そこについてはどう考えているのか。お願いします。

教育長：私の見解ですと、揺らぐか揺らがらないかですが、私は揺らがらないと思っています。今基本的なルールは、日本全国に共通している標準校というのは、1学級の標準を定める法律があるんですが、それでいうと小学校1年は35人なんです。36人超えたら2学級。70人までは2学級ですが、71人になったら3学級です。小学校2年生から中学校は、日本全国の標準校では40人学級なんです。41人になっ

たら2学級。80人までは2学級、81人になったら3学級なんですね。そういう法律になってるんですけども、いま少人数学級制というのが、要するに発想とするとコロナでソーシャルディスタンスとか確保するのに、人数が少ない方が良いでしょうというのがあるんですが、知事さんたちが要望してるのが、大体30人学級にしようとしてるんですね。31人になったら2学級と。そうすると教員の数を増やさないといけないんですよ。当然予算が必要ですので要望が出てるんですね。そこで勘違いしてはいけないのが、学級の中の人数を減らすのであって、小規模校が良いという発想ではないということです。学校全体として人数がすごく少なくなってしまうのは、やはり問題がある。小学校だと6学級、つまり全部単学級になっちゃったら、統廃合したら良いのではないかという方向性。これについては、今まで6学級になる人数が、新しく30人学級にすると7・8学級になる場合があります。だけど、やはり6学級になっちゃったら統廃合の検討に入るという、学級数で決めたところは変える必要は無いと思います。大きな基本的な方向性は、ある程度の規模で、子供たちがある程度の人数が揃った学校で学ばせてあげないと、十分学びが得られないだろうという方向性は変わらない。それを本納地域で考えたときに、本納中学校は今教室が14で、新しく作る教室は8ですから、教室の数が決まっているので、30人学級が本当に実現したときは、もしかしたら遅らせなければならぬ可能性はあるかと思います。必要な教室数が増えますので、作らなければならないとか、そういう場面は生じるかもしれません。

議長：よろしいですか。ご丁寧な説明ありがとうございます。

委員：よろしく申し上げます。第1次の時に豊岡小学校は2025年を目途にして統廃合と。第1次の時平成28年の時、この時はまだ豊岡小学校は人数多かったですよ。今日の資料だと、増加が見込まれなければ速やかに統廃合、第1次のときは「速やかに」が無かったですよ。令和7年の時に130人で学級数が6学級。1学年20人位になると。いま教育長さんから説明ありましたが、30人にも満たないんですよ。そういう学校で、それとですね豊岡小学校は水害がないんだと言われるんですけど、ある地区は水害の時はボートで逃げると。ボートを確保する。私なんか防犯パトロールで回るんですけどね、かなり人口がまばらで、何回も行ってるけど道路が覚えられなくて、どこ走ってるんだろうという感じなんです。人口増えるといってもスーパーが無いんですよ。茂原の中心部に勤めてて、あっちの方に帰る人は東郷地区のスーパーで買い物して帰ってくる。だから、おそらく人口が増えても、10人単位が増えても卒業生の方が多くなってしまわないかと。豊岡小学校の統廃合は、第1次は人数まだあったんで、新治小学校と別に審議していきましょうと。だから豊岡小学校は別だということじゃない。とにかく急いでいるところは先に統廃合しましょうと。豊岡

小学校は仕切り直して議論していきましょと、いうことなので、統廃合は計画どおり2025年、令和7年でもう一遍論議して会議を進めたいと、私は思います。以上です。

議長：はい、ありがとうございます。

委員：いま、お話ありましたが、著しく減少して第2次実施計画の中で統合を実施するというところでよろしいんじゃないかと思います。以上です。

議長：令和3年から7年度が第2次実施計画の時期です。その期間の中で考えると。最後の令和7年。

委員：はい、その中で。

議長：同じですね。皆さん方のご意見いただきましたが、言い忘れた方お話しただいて結構です。よろしいですか。それでは、第2次令和3年から7年の間に、本納小学校への統合が決まれば良いのではないかとということで、よろしゅうございますか。

委員：私は決められないですが、このやり方が多数決で決めるんだとすれば、多数決で決めれば良いと思います。

議長：数が少ないからダメではなくて、国会でも、県議会、茂原市議会、子供たちも生活の中で会議やるんですよ。さっきの意見は賛成、でもこの言葉が気に入らないからこう変えよう。今の子供たちはそこまで考えるほどに変わってますよ、昔の6年とかなり変わってますよ、地域全体の教育文化が進んだからですね。また大人の解釈の仕方が上手になったからですね。でもわからんちんの大人たちが生まれて間がない子供をひっぱたいてしまうと。人間でなくなってしまうと。余分なことを申し上げましたが、日にちは決めませんが、令和3年から7年の間にきちんと決めれば良いのではないかと思います。挙手は取りませんが、全員一致で、よろしゅうございますか。

教育長：すみません。さっきのご意見の中で、令和7年までに決めるという中で、令和8年までにという話がありましたよね。令和7年度までにいつ統合するか決めるということだと思いました。つまり、令和7年度までに決める統合時期は、令和8年もありえるというふうに聞こえたんですが。違いますか。

委員：決めるのは令和7年度までで決める。令和8年4月1日で統合もありえるのではないかとということです。令和9年は無いです。

教育長：私が聞いててはつきりしなかったのは、令和7年までに決める内容は、令和10年に統合と決めるのか。それとも令和7年度までのどこかで統合するのか。先ほど今は決めないけども令和7年度中に統合するのを決めるのか、令和7年度までに統合時期を決めるのか、聞いててどちらか確認したいのですが。そこだけ確認した方が良いかと思ひまして。

議長：いま教育長からお話ありましたが。いかがですか。

教育長：議長さんも同じ意味で言ってるのかもしれませんが、若干違うように聞こえたのですが、時期を令和7年度までに決めるというのは、統合は令和7年度までと決めないで、統合時期は令和7年までに決めるだと、今この場では決めないということ。それとも令和7年度までのいつかを決めるか。もうひとつあって、令和7年度までに、令和7年度までのいつかを今後決めるよという3種類があるので、3種類あるからそれがはっきりしてないと、決は取らないけど決めましたとなると何のことやらとなりかねないと思ひまして。

議長：できれば、何年の何月ぐらひは決めておいたら良いと思ひてます。そこですべてが終われば、学校再編が10年で終わるんですよ。ところが令和7年度越えたと、第3期とか具体的にとなると10年が15年とかなってしまうので、なるべくなら先ほど決められた、あのような決め方が何年何月と決められれば良いかなと思ひます。

委員：いつにするか決めるにはですね、やはり工程表が明確になって決めないと、ただ漠然とこういうふうにしようねでは、無責任になるのではないかなと思ひます。

委員：いま工程表とか日程の話ありましたけれども、それは私たちの仕事では無いと思ひています。それは教育委員会の仕事で、工程・日程を作ることだと思ひています。いつと決められないということなので、であれば令和7年の3月までに、「に」じゃなくて「までに」ということではいかげしょうか。

委員：統合完了ですか。それともスケジュールを決める。統合ですか。

委員：統合完了ですね。

委員：まっプロがおっしゃるから。

議長：いずれにしても審議会として、決めるわけで、そのとおりに決まるわけではありませぬ。

委員：これまでの具体的な審議内容というページがあるんですけども、そこに学校規模毎の基本的な方向性、ありますね。令和7年とありますが、令和7年度一杯ですか。あと、我々は答申書くんですよ。令和7年度の何月ごろに答申でしようか。最終的な答申です。統廃合の。

議長：今年度中です。

委員：令和7年度一杯に統合ですか。令和7年度の3月とかいう話はないですか。令和7年度までだと、令和6年度中にすべて準備する必要があるのか。

事務局：第2次実施計画ですが、令和8年4月1日までOKです。例えば、二宮と緑ヶ丘小学校の統合も、第1次実施計画で令和2年までですが、令和3年4月1日ということで、そこまでが最終になりますので、令和8年4月1日までが最終になりますので、そのようにお願ひします。

委員：はい、わかりました。

事務局：今のご意見を伺っていますと、令和7年までに統合という話がひとつ。令和7年

までに豊岡小学校の統合をどうするかというのを決めるのがひとつ。だと思えますが、あくまでも第2次実施計画内で統合を決めるんだという話と、統合の期間は令和7年の第2次の期間内で統合の時期を決めるということなのかなと聞いてて思ったんですけども、ここまでに統合させるという意見と、または第2次計画の先で統合させるということかと思えます。ある委員は第2次実施計画内に統合すると。別の委員は、そこまでの期間に統合を検討をするということと聞いていたんですが、いかがでしょうか。

委員：令和7年度までに統合を決めるというのは、いかにも無責任みたいになるのではないかと私は思います。第1次の時に令和7年度を目途に統合するとなっていたと思いますので、それを踏まえて令和8年4月1日までに統合を完了するというところでよろしいですね。

委員：統合を終わらせる。完了ですね。

委員：それでないと、今度、第3次実施計画の中で討議してくださいだと、丸投げしているみたいで、よろしくないかと思えます。はっきりした方が良いかと思いました。

委員：私は今の豊岡小学校の環境を何とか残してあげたいと強く思っています。いま令和7年にどうされるかと審議していますが、なるべく1年でも長く使って学校生活を送ってほしいと思いますので、やはり今の新校舎よりも、子供達に素晴らしい環境でありますので、令和7年度までにいつ頃統合するのかを決めるという、余裕を持った結論にして貰えればと思います。

議長：ありがとうございます。新しい本納小学校の作りというのは、色んな資料が出ております。千葉県の中でも近辺にはない素晴らしい施設にするんだと、文字になって発表、出ているのではないかと思いますけれども。再確認いたしますが、令和3年から7年まで。その最終の令和8年の始まり。そこからスタートできるように令和7年度末には統合が完了しているのが大方の意見かと思えますが。

委員：議長ですね、これは二つ意見が出ているから、手を挙げてもらって、どちらが何人で、どちらが何人とまとめれば良いのではないのでしょうか。

議長：ふたつあります。ひとつは令和8年4月1日に統合完了スタートがよろしい方、手を挙げてください。挙手お願いします。

委員：賛成7名挙手。(反対3名。会長、副会長は除く。)

議長：今、手を挙げなかった方は、何時ということではなくて、令和7年度までの中で検討すると。私がどちらに入ってもいずれにしても、統合完了させるということだと思います。しかし、その間、豊岡小学校については、素晴らしい施設よい環境というものを、今の子供たちに味わわせて、最終的には本納中学校で集まって、他ではあまりやっていない小中一貫教育などがスタートするというところで、それでよろしゅうございますか。教育長さんは。

教育長：私は何が良いということではなくて。

議長：まとめ方としてね。

教育長：私は、言葉が令和7年度までに統合を決めるという言い方だと、令和7年までに統合時期を決めるのかと、それとも令和7年度までに統合しちゃうのかが、はっきり分からなかったので、言葉がわからないのがひとつ。それから多数決をしないでこれで良いですねだと、私はそれでいいのかな。と。今多数決をしたら、皆さん共通理解できたかなと。

審議会が答申することなので、私たちがそれで良いですか。良いです。というものではありません。

議長：再確認します。令和7年までに統合完了するという事によろしゅうございますか。

教育長：言葉のことですみません。令和8年4月1日に統合ということも、今の中の最終として入っているんですよ。

事務局：令和7年度というのは、令和8年4月1日ということによろしいですか。

教育長：令和8年4月1日だと令和8年度ということになりますので、言葉の中に入っているということによろしいでしょうか。令和8年3月31日に統合は、ありえない話だと思うんですよ。先程からの話で、教員とか校長とかの話で。4月1日に統合だと思うんです。言葉のアヤとして、内容は理解しました。

議長：はい、そこが大事なんですね。ありがとうございました。

委員：確認します。そうすると「令和8年4月1日までに豊岡小学校を本納小学校に統合する」ということによろしいでしょうか。

委員：あの多数決だとそういうことになろうかと思えますけども、議事録だと3名の方は反対。そういうことになると思います。

議長：はい、ということで、よろしいですか。皆さん。

委員：令和2年度の段階ですと、参考資料3にあるように、色んな小学校が、まだまだ7学級だったり9学級と、今はそれで良いと思えますね。ですけど、私たちの論議は今ではなくて、未来の茂原を考えなくてはならない。令和7年度にもう既に6学級になったから、じゃあ7年になってから考えようでは遅いのではないかと。だから、今、考えていって、7年度を見据えたときにこうなるぞと、だからこうやって舵を切っていかなければならないということを、やはり考えていかなければならないと思います。

委員：よく分かりますけど、今までは住民とかPTAから意見を聞いて、それを反映させてやろうということじゃないかと。豊岡小学校の意見は少数だけど、反対意見が多いから、この場で決めるのはどうかと、もう少しまちと決められる材料が出てくれば良いと思うんですけども、それが出てくる前に決めるのはどうかと思うんです。ただ、それだけの気持ちで、まあ三人とお二方どうい

気持ちか分かりませんが、来年かもしれないし、7年かもしれない。この前説明あったように、魅力的なものを作るんだと、やはり豊岡小学校の小学生が新しい校舎が魅力的なら、もう行こうという流れができると思うんです。その感触を掴んでからの方が良いのではないかとというのが率直な考え方です。

議長：はい、結構です。考え方は色々あるかと思いますが。

事務局：スケジュール表見て頂きたいんですけども、1月2月に住民意見交換会がございます。その意見交換会を経て、審議会は答申を教育委員会に提出して貰うんですけども、1月2月の意見交換会の時に、いま例えば令和8年4月1日までに統合だよというのが審議会の意見で出てますが、皆さん如何ですかというのが意見交換会なんです。その意見交換会に持っていくのが決められないというのではなくて、何か答えを出して貰って住民の方に意見を伺わないといけないので、何かしら答えを出していただいた方がよろしいのかなと思います。以上です。

議長：ありがとうございます。参考資料2をお願いします。学校再編第6回審議会、具体的な学校再編案とあります、3月5日にも第7回学校再編審議会、答申案と計画が載っております。いずれにしてもその過程を経ないと最終的にここで考えたことがきちんとまとめて、市民の皆さん方、あるいは親御さん方、地区の皆さん方に理解できるまで、私たちはきちんと丁寧にその過程を説明しながら、何でこういうことをするのか、わかって貰わなければならない。こう思います。いま平成7年度、また年寄りみたいなことを、83才ですから年寄りです。令和8年4月1日、先ほど確認しました。このことを捉えて、いずれにしても決定じゃなくて、この後2回くらい会議が開かれますので、そして、答申案にまとめて提出できるように、努力したいなと思います。休憩なしで連続して申し訳ありませんけども。ではよろしゅうございますか。

委員：いつまでに出してくれというのは、事務局から聞かせてもらいたい。1月30日には説明するからとそういうことですよ。まだ10月ですから。スケジュールどおりではなくて。いつまでに決めてほしいと。

事務局：皆さん方の具体的な学校再編案が決まりましたら、市長・副市長に説明申し上げます。その後、市議会議員に説明申し上げます。それが11月18日です。それから、各地域に1月2月に行くんですけども、12月に意見交換会をやる文書を出さなくてはならないですね。遅くとも10月28日教育委員に説明するまでには具体的な再編案が教育委員会としては、欲しいですね。以上です。

議長：今の話し合いは物凄く大事なことを話し合っています。スケジュール表をご覧いただいてよろしゅうございますか。これからの流れとして、教育委員会、審議会、地域、市民と書かれているわけですが。

委員：今日しか決められないみたいですけども、27日までありますよね。だから、それまでに何か再度決める。あるいはもう多数決で決まったから、これですよ

というのか。明日から27日までにその中でまた議論をするという、二つの考え方があって、それについて他の委員さんから意見を伺いたいと思います。

議長：28日、もうすぐ来ますよ。はい。本日は10月14日でございます。2週間。いかがですか。予定表には載っていない会議を開く必要があるのではないかとこのご意見だと思います。

委員：正直まとめるのは、なかなか難しいと思うんですよ。先ほどまでありましたように、令和7年度までに統合完了するというので、例えば今日のコンセンサス取ったということで、それを庁議等に諮っていただいて、叩き台にさせていただくというのではダメでしょうか。

事務局：庁議に諮るのはずっと先ですが、皆さんから具体的な再編案を決めていただき、それを地域の方たちにお話をする元手ですね。それが決まらなないと、地域の方たちに学校再編審議会では、統廃合についてこう考えてますよ、ということと言えないので、それを決めていただければと思います。

委員：議長さん、やっぱり多数決で今日決めないとダメみたいですね。先程の多数決の数字でこの会は決まったということでやむを得ないじゃないでしょうか。

議長：全員賛成ではなかった。3人反対でした。よろしゅうございますか。まだまだ足りないよということあるんでしょうが、これから来年9月以降まで書かれたスケジュール。これも案ですから、まだまだ変わることもあると思います。先ほどの採決で決定でよろしいですね。はい。それでは先に進めさせていただきたいと思えます。

次は南中と早野中の統合についてでございます。具体的な統合時期について、前回の審議会では、保護者意見を聞いてから検討するということでしたので、意見を伺いたいと思います。先ほど、事前の保護者意見交換会、早野中と五郷小学校の様子も資料に載っています。ご意見承ります。前回の審議会でも本納地区と、早野中学校は優先すべき事柄ではないかと。これらについては第2次実施計画期間内に令和3年から7年に、検討したいと思えます。皆様いかがでしょうか。

委員：統合時期は今日決めなくてはならないのか。事務局お願いします。

事務局：先ほどご説明申し上げましたとおり、五郷地区の方々に案を示さなくてはならないので、同じ内容になります。

委員：答えは同じ。

議長：参考資料3をもう一度見てください。南中・早野中の統合について審議内容ありますね。1小1中の関係は解消すべき、意味は1つの中学校に、小学校2校以上が一緒になるという意味です。部活動の状況を考慮し早期に統合すべき。あるいは保護者の意見を聞いて統合時期を検討すべきと。こういうことが審議内容

として非常に大事だと指摘されてますので、それに関わったご意見を頂戴したいと思います。

委員：これは今までの経緯で、豊岡小学校の統合よりもこちらの方が、過去一緒だったということもあって、易しそうだねと。いう事もあったから、先程、豊岡小学校の統合の話が多数決で決まったので、これも多数決でずばり決めちゃった方が良いと思います。

議長：要するに、令和3年から令和7年の間に統合完了ですね。

委員：はい。統合完了ですね。

委員：保護者意見交換会は第1回、初めての会に私も出席いたしました。保護者側も何の話するのか、実は分からなかった。どんな質問をして良いのかわからなかった状態だったそうです。その割には意外と意見が多く出てました。このとおりでございます。僕が思ったのは、かなり早野愛がある人が多いんだなというのがあって、僕自身も早野中がいつかは南中に戻るという意見に賛成派なんですけれども、この間の意見交換会を聞いてて、学区の再編も検討して良いのかなと、交通事情を考えると、早野中は東西に長いようなエリアでして、東は茂原長南インターの入口の信号辺りまでありまして、あそこから南中まで通うのは、なかなかの距離もありますし、それを考えると富士見中の方が早いのではないかと、チラホラあるみたいです。また、僕は中1のときは、南中は完成してなかったもので、数年間だけ鶴枝小の一部が早野中に来ていたんです。その逆で、鶴枝の一部を早野に統合する。あるいは西小の一部を早野に統合する。あるいはどうでしょう、緑ヶ丘とかほかの案だとか、そんな再編の考え方も取り込めないかなという考えも出てきております。意見でございます。

議長：ありがとうございます。いずれにしても、ここに書かれているように保護者の意見というものを十分聞いたうえで、統合時期等々は検討しなければならないと考えています。他にいかがですか。

委員：今の経緯に関してというか、見方が違うんですが、現在の生徒数ですと南中は441人1番多いですね。そこに少ない177人の生徒が入ると618人。他と桁外れに増えちゃって、それであれば学区の編成で400人位の富士見と茂原から少しずつ貰うとかですね。学区の編成による、もう少し平均化できるような方法が良いのではないかと考えます。

議長：地区の問題ですね。ありがとうございます。貴重なご意見頂きました。他にいかがですか。いずれにしても、先ほど決まりました令和8年4月1日までにというお話ありましたが、同じように早野中学校と南中学校の統合進めてはどうかと、よろしゅうございますか。

委員：意見交換会などを聞いていると、賛成の方が多いというか、反対でも賛成に近い方が多いような気がしました。分割してしまうと、また色々学区のいじった

問題とか、こっちが少なくなったとか問題があると思うので、まるまる早野中は南中で良いのではないかと思います。まあ友達もいらっしやるでしょうし、期間は令和7年度までひっぱる必要があるのか、例えば5年度位でも今の説明会の状況等考えると出来るのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

議長：ありがとうございます。今日の参考資料2の中に、五郷小と早野中学校での発言の中身、すべて網羅しているわけでないですが、非常に穏やかな中で。ただ冒頭、委員から何を話しあうのかよく分からなかったというお話は残念ですが、非常に熱心に参加してくれましたよね。はい。これ見ると学級数の適正規模について再度検討して欲しいとか、学校が無くなるのは寂しく思うとか、これは早野中学校関係の方なのでしょう。早野中学校を残して欲しいというお考えの方ももちろんありました。最後に統合ありきで協議はしてもらいたくない。地域性に見合った教育環境を作ること方法の一つだと思う。というのもご意見の方も中にはいらっしやいました、9年間人間関係が変わらないのは厳しい、人数が増えた中で成長していくことは良いことだと思うので統合には、大は付いてないけど、賛成であるという方もいらっしやいます。総じて反対よりは数は少なかった。しかし、条件があります、学校に通う交通路の問題。いろいろ細かなことまで考えて下さっているのは、分かる気がいたします。時間もどんどん過ぎていきますが、この件について、言い落としの方いませんか。

委員：統合によって、部屋が足らなくなるのは。30人学級の話もありましたよね。事務局としては把握していますか。

議長：それは私から、十分あるそうです。そうですよね。冒頭説明ありましたけど、土砂災害のお話が冒頭にありましたよね。教室は十分あるということ、というのは800人以上という多い時代があったわけですね、やむを得ず早野中学校が出来たと。それには地区の問題等あったことはあったそうです。南中学校と早野中学校の統合について問題は色々あるのかもしれませんが。しかし、富士見中学校は今年4月から、西陵中学校と一緒に、今一生懸命に新しい学校、努力しているようではありますが、いずれ早野中学校と南中学校がそれを追い越すくらいの気持ちで、新しい学校がおそらく誕生していくのだろうと思いますけど。この辺のところはよろしいですね。先ほどの確認があったことと同じような形で、ここもご確認をいただくと、ありがとうございます。そして最後です。令和7年度までには統合完了するという、先程のありましたね、同じようなスタイルで、南中と早野中の統合ということです。いいですか。

委員：挙手は。

議長：そうですね。はい、それでは、今私申し上げました内容で賛成という方、挙手をお願いします。

委員：賛成8名挙手。(2名反対。会長、副会長を除く。)

議長：はい。よろしいですね。ありがとうございます。では最後になります。その他として西小、五郷小、鶴枝小等があります。いずれこれらの小学校もこどもの数がだんだん減っていくと、そういうことでございます。前回の審議会では本納地区と早野中を優先すべきという事でしたので、これらの地区につきましては、第2次実施計画期間内すなわち令和3年から7年までの中で検討していったら良いのではないかと考えていますが、いかがでしょうか。

委員：単に統合ということではなくて、やはり学区を見直していきながら、しないといけないと思いますので、時間がかかるので、その意味では早めにいついつまでに検討するとか、いうふうにして貰いたいと思います。

議長：なるほど。参考資料3の最後の囲みのなかですが、その他適正規模を満たさない小学校。規模の適正化の方策としては、学区の見直しが当然必要になると、まず述べられています。大事にしなければならぬ審議内容として、第2次実施計画では上記1から3がまず優先事項であって、4その他については、その次に位置していると、これもご理解いただきたいと、いずれにしましても3校については、次の第2次実施計画の中で検討しなければならないというふうに思っていますが、この件につきまして、ご意見を承りたいと思います。

委員：今、西・五郷・鶴枝小学校という形で出されましたが、この小学校だけに限らず他にもお話が出てくると思います。そういうことにつきましては、話が非常に複雑だし、一朝一夕にできることではないので、議長から話のあったとおり第2次実施計画の内で検討するという事でよろしいのではないのでしょうか。

議長：ありがとうございます。ということでよろしいでしょうか。

事務局：今の件につきましては、第2次実施計画が令和3年7月に策定する予定なんですけども、それが出来上がった後に、引き続きその件について、継続的にご協議を頂ければと思います。

議長：はい、わかりました。よろしく願いいたします。いかがでしょうか。よろしゅうございますかね。ありがとうございます。

本日色々と協議しました具体的な学校再編につきましては、事務局からご説明あったように、具体的な学校再編案については、1月から2月に地域住民と意見交換を実施していくということでございます。その後、諮問を受けてございますので、茂原市立小中学校の再編に関する具体的な方策、第2次実施計画に関する事。その諮問を受けている内容について、答申をまとめていきたいと思っております。答申案ですね。案をまとめていきたいと思っております。そして1月から2月に実施する住民意見交換会は、是非、皆様方、委員の皆様方もご参加いただけたらと私は思っております。大変長くなりましたが、以上で本日の案件はすべて終了ということにさせていただきます。ここで議長の任を解かさせていただきます。長時間、誠に協力ありがとうございました。

5 その他

司 会：ありがとうございます。次に「5 その他」でございますが、まず委員の皆様からございますでしょうか。よろしいですか。

では、事務局からご報告がございます。

事務局：1月2月の住民意見交換会の日程を説明。

住民意見交換会への委員の皆様のご参加についてのお願い。

次回会議の日時を確認（令和3年2月8日（月）15：00～市民室）

6 閉会 17時45分